

平成 20 年度当初予算 施策別概要

553 港湾の整備

(主担当部：県土整備部)

- 55301 人の交流を支える港湾機能の充実・強化
(県土整備部)
- 55302 物流を支える港湾機能の充実・強化
(県土整備部)

< 施策の目的 >

- (対象) 港湾利用者が
- (意図) 物流・人流拠点や親水空間として利用しやすい港湾になっている

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
入港船舶総トン数 (5 トン以上の船舶)	目標値	-	8,000 万トン (H18)	8,144 万トン (H19)	8,300 万トン (H21)
	実績値	7,861 万トン (H17)	7,681 万トン (H18)		

県内 20 港湾における 5 トン以上の船舶の入港した総トン数。平成 22 年度の目標値は、平成 23 年春に把握できる平成 21 年度の実績数値により測ることとします。

県の取組目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
人流を目的とする係留施設 (公共) の 延長	目標値	-	516m	926m	926m
	実績値	516m	516m		
物流を目的とする係留施設 (公共) の 延長	目標値	-	37,927m	37,927m	38,031m
	実績値	37,927m	37,927m		

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 中国発着貨物の著しい伸びや中部国際空港の開港など、県内の港湾を取り巻く環境の著しい変化に対応するため、産業を支える物流機能や港の交流機能などの充実強化が港湾に求められています。
- ・ このため、円滑な物流ルートを確保する臨港道路の整備、増大する貨物量に対応する整備を進めるとともに、地域の活性化に寄与する港づくりを進めていく必要があります。
- ・ さらに、発生が危惧されている大規模地震の備えとして、耐震強化岸壁の整備を進めていく必要があります。

< 平成 20 年度 of 取組方向 >

人の交流を生かした観光産業などの地域の産業を支える小型船だまり等の基盤整備を進めます。また、既存港湾施設について、安全で快適な利用ができるよう、適切な維持管理を行い、港湾利用者へのサービス向上に努めます。

災害時における地域の対応力を強化するため、耐震強化岸壁の整備に取り組みます。

四日市港において、高速道路と直結する臨港道路、霞ヶ浦北ふ頭 80 号岸壁の背後地の整備など物流の高度化・効率化に向けた取組を推進します。

<主な事業>

国補港湾改修事業【基本事業名：55301 人の交流を支える港湾機能の充実・強化】

(第8款 土木費 第4項 港湾費 2 港湾建設費)

予算額： 1,389,500千円 909,000千円

事業概要：鳥羽港の小型船だまり、津松阪港（大口地区）の航路浚渫、尾鷲港・浜島港の耐震強化岸壁の整備を進めます。

公共土木施設維持管理費（港湾関係分）

【基本事業名：55301 人の交流を支える港湾機能の充実・強化】

(第8款 土木費 第1項 土木管理費 1 土木総務費)

予算額： 98,432千円 141,713千円

事業概要：県管理港湾19港において、港湾施設の機能が充分発揮できるよう施設の維持・補修、港湾緑地の維持管理を行います。

四日市港振興事業【基本事業名：55302 物流を支える港湾機能の充実・強化】

(第8款 土木費 第4項 港湾費 3 港湾諸費)

予算額： 2,023,563千円 2,061,686千円

事業概要：四日市港管理組合への負担金等（長期的な開発、利用及び保全に関する指針となる港湾計画の改訂や円滑な物流ルートを確保する臨港道路の整備等）